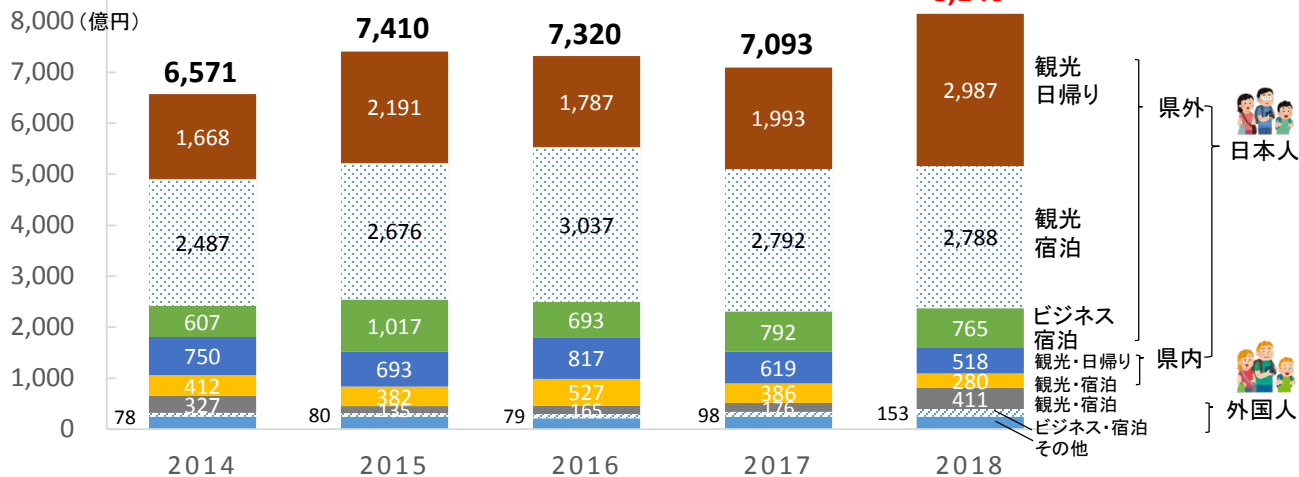


- 2018年の本県の観光消費額は8,146億円と、2016年(しあわせ信州創造プラン2.0における基準年)に比べ、826億円の増加。
- このうち、日本人の観光消費額は同比で506億円の増加。内訳をみると、消費額の大きな割合を占める県外の日帰り観光客が、来訪者の増により消費額が増加した一方で、県外宿泊客は消費単価の減により、また、県内客は日帰り、宿泊とも来訪者、消費単価の減により、それぞれ消費額が減少。
- 外国人の観光消費額は同比で321億円の増加。消費額全体に占める割合は7%程度と低いものの、来訪者、消費単価ともに増加。

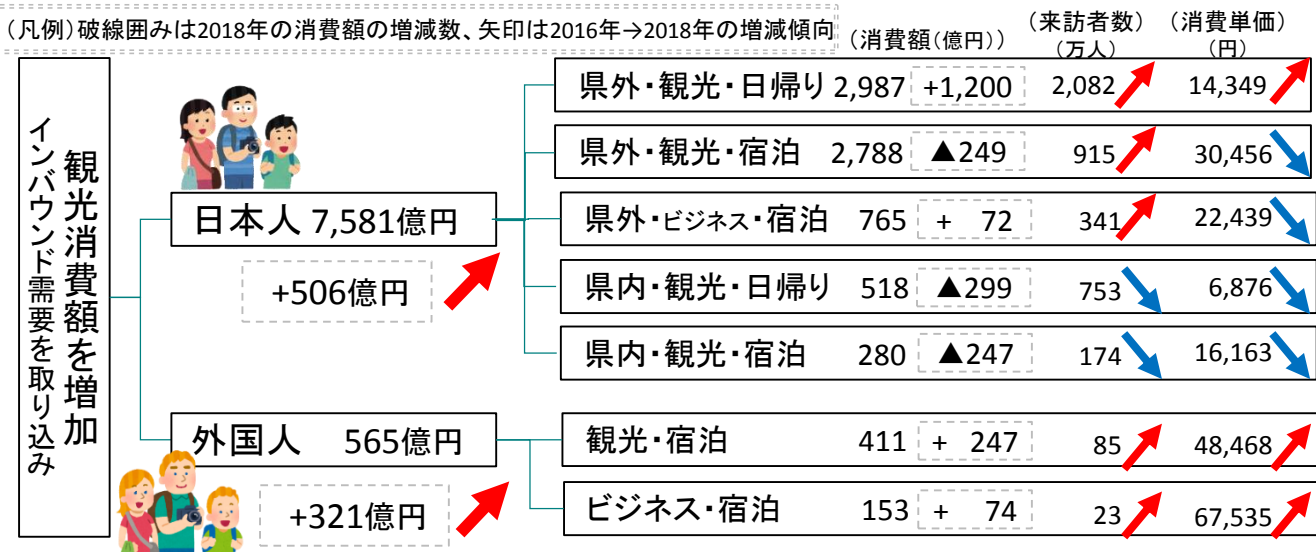
【観光消費額の年別・属性別推移】

【出典】長野県「観光入込客統計調査」 **8,146**



【属性別の消費額・構成要素の増減】

【出典】長野県「観光入込客統計調査」



【主な属性の来訪者数と消費単価の相関図(3か年の推移)】

【出典】長野県「観光入込客統計調査」

